

いちき串木野市新特産品認定制度の提言

◎目的

・当市にある魅力ある食品や工芸品を「いちき串木野の新しい特産品」として認定し、市内外に広く PR する。

◎現状と展望

・現在、本市には「さつま揚げ」「芋焼酎」「まぐろラーメン」といった素晴らしい特産品が多くあるが近年は“いちき串木野の新しい特産品、と呼ばれるモノが少ないと感じる。だからと言って「本市に新たな魅力ある商品が無いのか？」といえそうではなく、県が行っているくまがしまの新特産品コンクール>や各業界での<コンクール>で入賞するなどの素晴らしい商品や製品が沢山ある。しかし、そういった業績は商工会議所からの表彰や市広報などで紹介はされるものの主に各事業所単位での PR 活動に留まる。

そこで市役所はもちろんの事、商工会議所や特産品協会を中心に「いちき串木野市新特産品認定制度の導入」を提言したい。認定基準を定め、一定の基準を満たしたモノを「いちき串木野の特産品」として認定し、いわば「いちき串木野市公認の特産品」として市内外に大々的に PR する。

形式としては毎年行うコンクール形式ではなく、各事業所が本当に自信のあるモノが出来た時に応募し、決められた認定基準に沿って合否を判断する。

現在、ネットショッピングや飲食店検索サイト等でも口コミが商品購入の意思決定に大きく影響する事が多々ある。実際の販売の場面では、メーカー側から消費者への売り込みだけでは限界があることが分かる。一方で、上記の通り消費者間の口コミはメーカー側からの発信よりも影響力が大きい。

特産品を購入するために市外の方々が本市を訪れ、目的の商品だけでなく市内飲食店や観光地を訪れる様に仕向けられれば交流人口の増加も期待できることから特産品は“地域発展の起爆剤、となり得ると考えている。

そこで、市がこの「いちき串木野の新しい特産品」を認定することで、市民の皆様が胸を張って「いちき串木野の特産品は〇〇です」（口コミに繋がるような）と言っただけのような特産品を生み出し、いちき串木野全体で発信していく事で企業の成長は基より、交流人口の増加や町の発展に繋げていく事が出来るようになると思う。

【コンクールなどによる近年の主な受賞歴】

- ・ 2017 ○モンシェリー松下「ちりぬれせんべい 昭和4年」
全国菓子大博覧会 最高賞「名誉総裁賞」
- ・ 2018 ○吉之助キッチン「8種の彩りフレーバーさつま揚げ」
かごしまの新特産品コンクール「県知事賞」
令和元年度優良ふるさと中央食品コンクール「農林水産省食料産業局長賞」
鹿児島県漁業振興大会第52回水産物品評会「農林水産大臣賞」
- ・ 2019 ○亀崎染工「あづまバッグ」
かごしまの新特産品コンクール「県知事賞」
- ・ 2020 ○協業組合ユニカラー「竹紙ストロー」
かごしまの新特産品コンクール「鹿児島市観光連盟会長賞」(工芸部門)
○浜崎蒲鉾店「サラミ風蒲鉾魚っち・チーズ魚っち」
かごしまの新特産品コンクール「鹿児島市観光連盟会長賞」(食品部門)
鹿児島県漁業振興大会第51回水産物品評会「水産庁長官賞」
第70回全国蒲鉾品評会「水産庁長官賞」
日本ギフト大賞 2021 鹿児島賞
- ・ 2021 ○亀崎染工「大漁雲」
かごしまの新特産品コンクール「鹿児島県特産品協会理事長賞」